



今回、ホームステイを通して留学生を家族の一員として迎えることができ、私たち家族にとって本当に貴重で素敵な経験となりました。

受け入れにあたって最初に心配だったのは、時差による体調面への影響でした。どこまで予定を入れてよいのか、どの程度休ませてあげるべきなのか、その判断が想像以上に難しかったです。特に、滞在の最初に週末があったため、一緒に観光やお出かけを楽しめる貴重な機会だったのですが、時差の影響もあってか、お昼を過ぎてもなかなか起きられない日もあり、思うように連れて行ってあげられなかったことが少し心残りです。もう少し滞在期間が長ければ、留学生自身も日本での生活に慣れ、私たちもさらにいろいろな経験をさせてあげられたのではないかと感じました。それでも、一緒に過ごした時間には素敵な思い出がたくさんあります。

初日は名古屋の大須へ出かけ、食べ歩きをしたり、ゲームセンターで遊んだりしました。夜は屋形船のような雰囲気店内で一緒に魚を釣り、その魚をお刺身などに調理していただくという、日本ならではの体験も楽しみました。一方で、食文化の違いも感じました。彼女にとって日本の食べ物には少し馴染みのないものも多かったようで、なかなか新しい食べ物に挑戦することは難しく、エビフライなど食べ慣れたものを選ぶことが多かったです。こうした違いも、実際に一緒に生活してみたからこそ気づけたことだと思います。

翌日はちょうど地元のお祭りがあり、一緒に獅子舞の練り歩きに参加しました。夜には実家でバーベキューをして、親族とも交流することができました。彼女は自分から積極的に質問をするタイプではありませんでしたが、その日にあった出来事を楽しそうに話してくれる姿がとてもかわいらしく、私たちも自然と笑顔になりました。また、絵を描くことがとても上手で、我が家の子どもたちは彼女と一緒に絵を描く時間を毎日楽しみにしていました。言葉や年齢、文化が違って、好きなことを通じて自然に交流できる姿を見られたことは、親としてもうれしい経験でした。

彼女は本当に穏やかでかわいらしい、とても素敵な子でした。特別なことをしなくても、同じ家で食事をし、日々の出来事を話し、一緒に過ごす時間そのものが、私たち家族にとってかけがえのない思い出になりました。

短い滞在ではありましたが、別れが寂しく感じられるほど、私たちにとって大切な存在になっていました。今回の経験を通じて、異文化交流の楽しさだけでなく、生活習慣や食文化の違いを理解し、お互いを思いやることの大切さを改めて感じました。

本当に素敵な留学生を迎えることができ、家族みんなで心地よく、温かな時間を過ごすことができました。また機会があれば、ぜひホームステイの受け入れをしたいと思っています。このような素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございました。